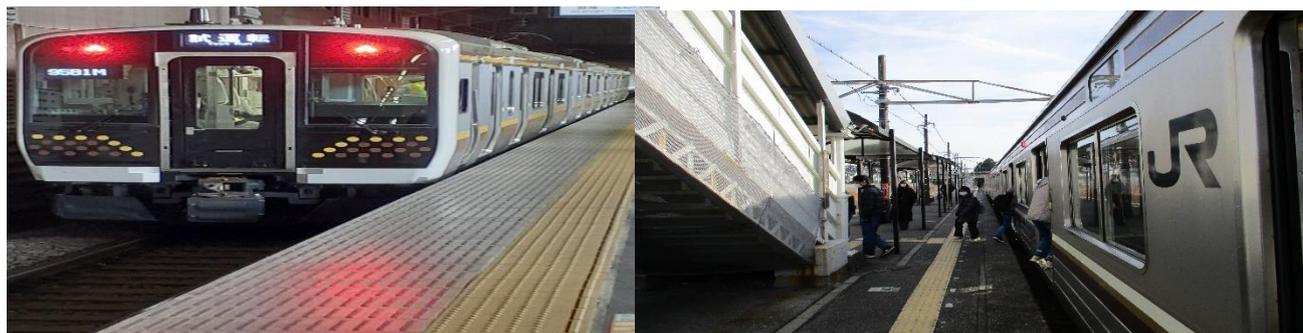


## 常磐線、日光線調査開催！！



水戸線の車載カメラと車内モニタ



日光線に入るE131系

階段が死角になっている鶴田駅の様子

運輸車両部会は車内モニタを使用したワンマン運転を行っている水戸線と2022年3月ダイヤ改正にてワンマン運転の導入が提案されている日光線の調査を1月21日に開催し、当日は8名にて調査をおこないました。初めに検証した水戸線車内モニタの調査では車内モニタを使ったワンマン運転を初めて見る常任委員が多く、「全く見えない」「こんな方式で大丈夫なのか?」「危険すぎる」との声が出されました。日光線の調査では今市、鶴田はコセンキョウがホーム始端にあり鶴田駅などは方面によっては階段が完全な視覚になっています。本数もすくないですから学生の帰宅が集中した時などは危険であると感じました。また改めて気づいた事としてホーム上の安全が蔑ろにされていると言う事です。会社は中編成ワンマン導入の交渉時に列車起動後ホームで何かあっても運転士の責任は問わないとしていますが、昨年3月にワンマン運転となった内房線では乗車出来なかった70代旅客がホーム上で転倒し大たい骨を骨折する事故が発生しています。本当にそれでよいのでしょうか?列車が出てしまえばその後はどうでも良いということでしょうか?では車掌は何のための起動開始後ホーム終端まで状態監視をして後方を確認しているのでしょうか?私たち運輸車両部会は安全が損なわれる中編成ワンマンの導入は断固反対です。

**運輸車両部会は安全が損なわれるワンマン運転導入には反対です！！**